

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2020年4月1日

事業所名 Plus+days

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室①②に可動式パーテーションを設置しており、人数により開放して療育を行っている	
	2	職員の配置数は適切である		○	欠勤が出れば適切とは言い難い。	現在、非常勤スタッフ2名の採用が決まっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差も少なく、トイレも車いすごと入室できる広さを確保している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		周知されていないため周知できるよう検討する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今後定期的に実施していく予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今回が初回となる。事業所HPIにて公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修への参加を進めている。また、研修参加後には「研修報告会」を開き、共有している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートに家庭での様子を記入していただいたのち、事業所でも取り組みの中でアセスメントを取っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたものがなく、今後検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1度ミーティングの場を設けている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		大きな活動は決まっているが、内容については日々変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		長期休暇に関しては精査中。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		事前を送迎担当や、主な支援者等割り振っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼を行い、保護者からの申し送りや、現在の状況について情報交換を実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		行動分析学に基づく支援記録シートを毎日記載し、子どもたちの反応や変化に気づき、対応できるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		セルフプランが多く、担当者会議の開催がない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		前例がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		前例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			地域の公園等に行き、機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳に様子を記載している。また、別途個別面談や電話での相談にも対応している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングについて、今後研修に参加し、導入していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			重要事項説明書にて窓口に関して記載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月に1度通信を作成し、取り組みを伝えている。
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きの書庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			伝わりにくい時はホワイトボード等に文字やイラストを用いてコミュニケーションが図れるよう環境設定している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		重要事項説明書に記載しているが、周知されているとは言い難い。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		今後、実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		研修の機会は設けられていないが、都度指導をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット案件があれば報告書を回覧し、再発防止に努めている。